

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-314739

(P2006-314739A)

(43) 公開日 平成18年11月24日(2006.11.24)

(51) Int. Cl.		F I		テーマコード (参考)
<b>A 4 7 G 23/02</b>	<b>(2006.01)</b>	A 4 7 G 23/02	A	3 B 1 1 5
<b>B 6 5 D 25/20</b>	<b>(2006.01)</b>	B 6 5 D 25/20	U	3 E 0 6 2

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号	特願2005-167460 (P2005-167460)	(71) 出願人	505212739
(22) 出願日	平成17年5月11日 (2005.5.11)		松崎 倫裕
			鹿児島県始良郡始良町西餅田3949番地 第2シーサイドハイツ長江302号
		(72) 発明者	松崎 倫裕
			鹿児島県始良郡始良町西餅田3949番地 (第2シーサイドハイツ長江302号)
		Fターム(参考)	3B115 AA16 BA28 BB01 DA09 DB07 3E062 AA10 AB02 CA08

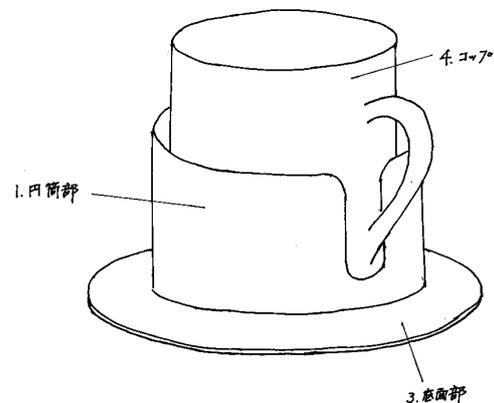
(54) 【発明の名称】 コップホルダー

## (57) 【要約】

【課題】 取っ手のあるコップ等の転倒を防ぐコップホルダーを、低コストで提供する。

【解決手段】 コップを設置する円筒部(1)に切れ込み(2)をもうけ、それにあわせてコップの取っ手を差し込むことによりコップを設置しやすくし、また、底面部(3)を広い面積にすることにより、コップが横からの力を受けても底面部(3)が支えとなり、コップの転倒を防ぐことを特徴とする。

【選択図】 図2



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

コップを設置する円筒部(1)と転倒を防ぐため広い面積でできた底面部(3)からなるコップホルダー

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

この発明は、コップが転倒することを防ぐことを目的としたコップホルダーに関するものである。

**【背景技術】****【0002】**

従来、自動車内で使用する缶飲料の転倒を防ぐためのコップホルダーがあった。また、幼児がコップを転倒させるのを防ぐための発明として、子供用吸盤付きコースター(特許公開平8-70975)があった。

**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

これらには、次のような問題点があった。

まず、車内用のコップホルダーは、通風口に取り付けて使用するとか、下面と吸着テープで接着するなど使用が車内に限られており、普通の机上で取っ手のあるコップを対象として使用するには不便であった。

また、子供用吸盤付きコースターは、転倒防止策として底面に吸盤を付けるなどコストがかかり製品化が困難であった。

**【課題を解決するための手段】****【0004】**

本発明は、以上のような欠点をなくすためになされたもので、これを図面について説明すれば、コップを設置する円筒部(1)にはコップの取っ手を置きやすいように切れ込み(2)がある。その円筒部(1)と広い面積の底面部(3)から構成されるコップホルダーである。

**【発明の効果】****【0005】**

これを使用するときは、円筒部(1)の切れ込み(2)にあわせて、コップの取っ手を差し込んでコップを置く。すると、前後左右あらゆる角度から力を受けても、底面部(3)が支えとなってコップが倒れない。

本発明は、簡単な形状であり、素材もポリプロピレン等を使用して低コストで生産することができる。また、下の机等と接着することもないのでどこでも好きな所に動かすことができる。また、狭い事務机上で使用しても、場所をとるのは円筒部(1)だけなので邪魔にならない。

**【発明を実施するための最良の状態】****【0006】**

以下、本発明の実施例について説明する。

円筒部(1)に切れ込み(2)を設け、円筒部(1)に底面部(3)を取り付ける。円筒部(1)と底面部(3)は別個に製造し接着してもよいし、一体的に製造してもよい。底面部(3)は円形でなくとも、楕円形や四角形などでも転倒を防止できればどのような形態でもよい。

本発明は、以上のような構造で、これを使用するときは、コップの取っ手を切れ込み(2)にあわせてコップを置く。これでコップは横からの力を受けても底面部(3)が支えとなり転倒しない。

なお、本発明は、コップだけでなく缶飲料等を対象としても使用できる。

また、幼児用としては、円筒部(1)をコップに取り替えて、それに底面部(3)を取

10

20

30

40

50

り付ければ、倒れない幼児用コップとなる。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】 本発明の斜視図である。

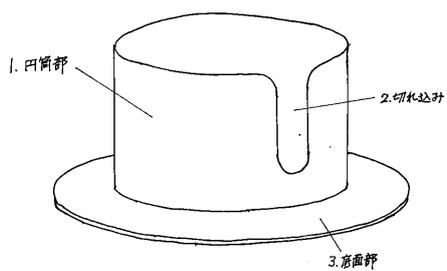
【図2】 本発明の使用中の斜視図である。

【符号の説明】

【0008】

- 1 円筒部
- 2 切れ込み
- 3 底面部
- 4 コップ

【図1】



【図2】

